
一生懸命な男

臣

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一生懸命な男

【コード】

N3806N

【作者名】

臣

【あらすじ】

何事にも一生懸命な男。彼の人生は満足に満ちていた。が…

何事にも一生懸命な男がいた。

男は幼い頃から一生懸命に物事に取り組み、失敗もし、成功もしてきた。

努力しているのではなく、自然と一生懸命になってしまふ男だった。

そんな男も大学を卒業し、ある企業にめでたく就職の運びとなった。小さな会社ではあったが、男は雇ってくれた社長に感謝し、数少ない従業員とも上手くやってきた。なにより、何事にも一生懸命なところが好かれていたようだ。

ささやかな入社式のときの社長の言葉、「お互い一生懸命、働きましょう」。

男はその言葉を素直に実行に移した。自分の仕事が終われば、他の従業員の仕事を手伝い、それも終われば、とにかく仕事を探してそれを遂行した。

自然、他の従業員も男につられ、今まで以上に仕事に精を出すようになった。会社の成績は上向き、従業員全員の給与も上がり、ボーナスも上がった。

男は面白いように昇進を重ねていく。昇進してもそれに奢らず、一生懸命に働いた。

ある時、社長の一人娘との縁談を持ちかけられた。少し大人しめだが、可愛いタイプの女性だった。

男は一目惚れし、一生懸命に求婚。めでたく結婚することとなった。

結婚してからは、さらに一生懸命仕事に邁進した。しばらくして子供が産まれた。

玉のような男の子。次の年には女の子も産まれた。

男は、一生懸命なほどに良い夫であり、良い父親であった。

それから男は、急成長を遂げる会社の新社長に大抜擢された。入社したときよりも従業員の数は増えたが、異論を挟む者はいなかった。

皆、暖かい拍手と言葉で新社長を迎え入れた。

年を重ね、成長する会社とともに男は年老いていった。

子供たちも立派に成長し、親離れをしていく年頃だ。

そして男は定年で社長を退いたが、役員たちの希望もあり、特別顧問として会社にとどまり、さらに一生懸命に働いた。

会社に一生を捧げるとよく言うが、男は会社にも家庭にも一生懸命に身を捧げた。男もそれで満足していた。

年老いた男は老衰でついに倒れ、危篤状態に陥った。

病院のベッドで最後に一言「一生懸命に楽しんだ人生だった」と、自分の人生を総括し、旅立っていった。

「お疲れ様でした。安らかにおやすみくださいね。貴方」
男の妻は涙ながらにその手を取り、そう呟いた。

それから数カ月ほどした夜のこと、妻の枕元に男が佇んだ。

「貴方？ 貴方なの？」

「うん、俺だ」

妻は驚くが、怖いという感情はもちろん無い。それよりも、男が何を言いたくて

枕元に立ったのだろう。なにか心配事があるなら、解消してあげなければ…。

「どうしたの？ 何か悩み事ですか？」

「うん、ちょっと教えてほしいんだけどなあ」

男は照れながら言った。

「一生懸命に、安らかに休もうとしたんだがどうにも上手くいかん。ちよっと安らかに休む方法を教えてくれないか、一生懸命やるか

ら…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3806n/>

一生懸命な男

2010年10月10日06時14分発行